

インピーダンス

No. 2459
2018年12月3日
定価 1部10円

日本共産党通研支部
http://jcp-tsuken.com/
jcp-tsuken@hotmail.com

最低最悪 ゴーン流経営

人間切り捨て・大リストラに怒りの声

ゴーン流経営は、V字回復を実現したとしてもではやされていまます。しかしリストラされた日産社員や切り捨てられた下請け企業からは、「有無を言わさないやり方で怒りしかなかった」「許せない」などの声があがっています。

1999年、日産入りしたゴーン会長は、「日産リバイバルプラン」を発表。「成長に

よる業績への貢献はいっさい前提にしていません」と自らが言うように、急激な下請け単価の切り下げや、村山工場(東京都武蔵村山市)など5工場を閉鎖、2万1千人に上る人員

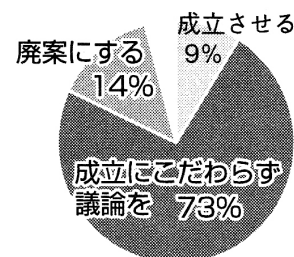


削減を強行しました。2000年度は、下請け企業を1145社から810社に3割も切り捨て、同年度の営業利益2903億円のうち2870億円を下請け単価削減で生み出しました。2008年のリーマン・ショックの際にも、派遣社員など2万人の人員削減と下請け企業の切り捨てを断行しました。高額報酬は、労働者

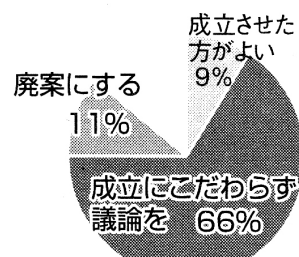
の収奪と首切り、下請け企業切り捨ての結果にほかなりません。自民党政権はゴーン会長をもてはやし、ゴーン流経営を製造業のお手本のように扱い、リストラで業績を上げた。しかし、こうした経営が製造現場をむしばみ、リコールの急増、検査データ改ざんなど、ものづくりの基盤を掘り崩しています。

今週の数字

入管法改定案
今国会成立に反対多数



「読売」11月23～25日調査



「毎日」11月17、18日調査

参院選へ市民連合シンポジウム 安倍政権にかわる新しい選択肢

5野党・1会派が一堂に
1人区一本化確認、協議加速へ

来年の参院選での安倍改憲阻止と政権打倒に向けた市民と野党の共闘の実現をめざすシンポジウム「安倍政権にかわる新しい選択肢」が28日、都内で開かれまし

う」と呼びかけました。一堂に会した日本共産党、立憲民主党、国民民主党、無所属の会、自由党、社民党の5野党・1会派の書記局長・幹事長が発言。全国32の1人区での候補者一本化にむけ、「本気の共闘を」「具体的に前に進めたい」「真摯に受け止め一歩前に進める覚悟」「共通政策をつくり野党が一本化したい」などと選挙協力に向けた協議の加速を議論、共通の了解と確認しました。

職場から

NTTが海外に研究所を設立へ(28日リリース)。「シリコンバレー」に量子計算科学研究所、暗号情報理論研究所、生体情報処理研究所の3つの研究所を作ると正式に発表しました。「設立は2019年7月1日」

× 出入国管理法改定案
× 衆院本会議で強行採決



(27日)。「審議時間はわずか17時間。拙速

だ」「外国人労働者の受け入れ体制など何も決まっていない。見切り発車、国民は納得していない」

× ゴーン日産元会長逮捕。「過小記載額が120億円に達した」
× 「ゴーン容疑者は『確

インピーダンスにカンパをお願いします

インピーダンス編集委員会

来年の参院選での安倍改憲阻止と政権打倒に向けた市民と野党の共闘の実現をめざすシンポジウム「安倍政権にかわる新しい選択肢」が28日、都内で開かれまし

う」と呼びかけました。一堂に会した日本共産党、立憲民主党、国民民主党、無所属の会、自由党、社民党の5野党・1会派の書記局長・幹事長が発言。全国32の1人区での候補者一本化にむけ、「本気の共闘を」「具体的に前に進めたい」「真摯に受け止め一歩前に進める覚悟」「共通政策をつくり野党が一本化したい」などと選挙協力に向けた協議の加速を議論、共通の了解と確認しました。

入管法 衆院で採決強行

外国人労働者の無権利を放置し、日本の労働条件を悪くする法案断念を

自民・公明・維新の三党は27日、入管法改定案の衆院採決を強行しました。世論調査で6割から8割超の国民が今国会成立に反対する中で、暴挙です。

入管法改定案は「特定技能」という資格を新設して、「人手不足」とされる業種や分野の



仕事を外国人労働者に担わせようというものの法案は大枠を決めるだ

けで、基本方針や中身は政府に白紙委任という、法案として体をなさない欠陥法です。

新資格「特定技能」は、既存の外国人技能実習制度から多くの人が移ることを前提にしています。いま技能実習制度のもとで外国人を低賃金で長時間働かせる違法・無法がまん延し、ひどい扱いに失業者は増えるばかりです。政府は、「失踪者」から聞き取りを行いましたが、技能実習生が勝手に逃げ出したかのようににねつ造しました。

環境NGO調べ 日本の温室効果ガス排出構造変わらず エネルギー政策の見直しを

日本の温室効果ガス排出量の半分を、わずか129の発電所と工

場で排出していることが、環境NGO「気候ネットワーク」の調べで分かりました。排出構造はこの10年間全く変わっていません。排出量の多い上位30事業所の大半は石炭を大量に使う石炭火力発電所や製鉄所です。

「パリ協定」は、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べ「2度を十分下回り」、「1.5度未満」を努力目標に、今世紀後半をめぐり温

室効果ガス排出の実質ゼロを目指すことを定めています。気候ネットワークは、排出構造が変わらない限り、これらの目標は実現できないと指摘。石炭火力を「ベースロード電源」と位置づける政府のエネルギー政策は気候変動政策に逆行しており、直ちに見直すべきだとしています。

科学トピックス

シロアリの巨大塚群ブラジルで発見 英サルフォード大学など 米科学誌「カレント・バイオロジー」(19日付)

ブラジル北東部の乾燥地帯にシロアリ塚が無数につくられた大地が発見されました。面積は本州とほぼ同じ広さです。一つひとつのシロアリ塚は、直径が9mで高さが2.5mの小山のよう。年代測定を行った結果、最も古いものは3820年前につくられたことがわかりました。シロアリが地

上に積み上げた土の量は巨大なエジプト・ギザのピラミッド4千個分に相当するといえます。研究グループは、この地域に生えるカテーインガという低木の林床でシロアリが地中の枯れ葉などを食べるために、土を掘り、積み上げた結果、無数のシロアリ塚が出来上がったとみています。

「ようやく紅葉・黄葉した」「小春日和が続いている」「東京の木枯らし1号は吹かなかった」「39年ぶりだ」という



【職場からの続き】

「納税者がリスクを負わないという保証がない」と辞退していた「ネット情報や技術を瞬時に共有できる」



「私的流用も次々に明るみになっている」「日産に続き三菱も会長・代表取締役を解任した」

NASAが5月に打ち上げた探査機「インサイト」が火星に着陸(26日)。「2年間にわたり調査し、火星の成り立ちの解明が期待されている」

2025年万博が大阪に決まった。「大阪での開催は5年ぶり2度目だ」「フランスは

万博の時代かなあ」「国民にリスクを強いることだけはやめて欲しい」「カジノ誘致と一体で進めるのは問題だ」

ぎの地震。「突然の横ゆれに驚いた」「ゆれが長く感じた」「出勤途中で気がつかなかった。周りの人が一斉にスマホを見ていた」

大相撲九州場所は22歳の小結・貴景勝が初優勝。「突き押しに徹したのが良かった」「殊勲・敢闘賞も受賞した」「インタビュも率直な気持ちを語り爽やかだった」

ユネスコ、「男鹿のナマハゲ」などを無形文化遺産に登録(29日)。「来訪神、仮面・仮装の神々10件が登